

授業科目名 (サブタイトル(副題))	メイクアップ演習		
担当者	遠藤 瑞穂		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他			

[到達目標]

- ①メイクアップ論での習得した内容をライブマスク(顔型)で実践できるようになる。
- ②顔型に合う眉の描き方、頬紅・シャドウのつけ方、アイメイクの基本のつけ方ができるようになる。
- ③メイクセラピー検定試験 3級「認定メイクセラピーガイド」資格を履修者全員取得する。
- ④就活メイク・社会人になった時の「なりたい個人のイメージ像」のメイクができるようになる。

[授業概要]

・前期メイクアップ論の授業で学んだ内容をライブマスクを使い、スキンケアからベースメイク・アイメイク・リップメイクを練習していきます。(ライブマスクとは、大学で準備しているメイクアップ練習用4つの顔型のことです。)ライブマスクで習得、技術が向上した後、ロールプレイにて実際にメイクができるようになり、オーダーにあわせたイメージメイクの説明と演出ができる。
長期美容業界教育指導、商品開発などの経験を有する職員が、その経験を活かしてメイクアップ演習、実技指導をします。(MTJ認定メイクセラピスト資格、AFT色彩検定1級、NLP認定トレーナーの資格を有する)

*連絡事項

- ①眉は顔型で整え方を説明、指導しますので無理にさわらないようにしてください。
- ②オリエンテーションで個人のメイク品、備品関連を伝えますので準備してください。
日頃使用しているスキンケア・メイク化粧品、鏡、タオル、ヘヤーピンなど。
実際の演習には、個人の化粧品を持参してもらいます。
(ライブマスク練習用メイク品は大学で準備しているものを使います。)
- ③教科書は前期メイクアップ論での3級テキスト1冊を使います。(資料は、別途配布)
- ④前期メイクアップ論配布資料は、準備しておいてください。

※メイクアップ演習履修者人数は18名を上限とします。

※履修者はメイクセラピー検定 3級資格取得試験「認定メイクセラピーガイド」を受けて資格を取得します。(学内団体受験・3級検定試験は受験料が必要です)

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

演習でできなかった箇所は、ライブマスクの持ち帰りを許可しますので、できなかった箇所を自宅で練習してください。
演習・講義での提出シートが完成できないときは、授業時間外に仕上げて提出してください。
個人で化粧品を購入する際や化粧品など質問がある時は、事前にシートに記入して相談してください。
各回の演習講義について予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度)。

[授業計画]

- 1.オリエンテーション 授業全体の概要、演習の進め方、ライブマスクなど準備
- 2.顔のプロポーション・顔型・パーソナルカラー
- 3.メイクアップの心得(メイクアップ論・復習)
- 4.ベースメイク(ベース補色・肌色の選び方)
- 5.顔型と眉 アイブローテクニック、眉の整え方
- 6.アイメイク パートⅠ(アイシャドウ、アイライナー)
- 7.アイメイク パートⅡ(マスカラ・アイブロー)
- 8.顔型とブラッシュメイク・リップメイク パートⅠ
- 9.顔型とブラッシュメイクパートⅡ(ハイライト、シェイディング・唇修正)
- 10.メイクセラピー3級/筆記試験対策
- 11.セラピーメイク方法(求心顔・遠心顔)
- 12.メイクセラピー3級資格取得学内試験
- 13.理解度確認筆記及び実技テスト・解説

[成績評価方法]

ライブマスク課題提出物(50%)、理解度確認筆記及び実技テスト(40%)、レポート提出(10%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]

- ・レポートは、後日添削して解説後返却します。
- ・ライブマスクは当日課題確認して技術向上のフォローアップをします。
- ・ロールプレイ実技は当日確認してポイント技術向上のフォローアップをします。
- ・3級資格検定試験対策、筆記模擬試験用紙は解答時に解説後返却します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]

詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]

m-endo@suma.kobe-wu.ac.jp

質問等がある場合は、メール本文に学科名・学籍番号・氏名・授業名を記載し、質問事項を記入してください。

授業科目名 (副題)	メイクアップ演習
担当者	遠藤 瑞穂
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>【総生3-1】実現可能なキャリアプランに向かって資格取得に資する力を有している。 成績評価方法:ライブマスク課題提出物(50%)、理解度確認筆記及び実技テスト(40%)、レポート提出(10%)で評価します。</p> <p>【総生3-2】主体的に学修を深める力を有している。 成績評価方法:ライブマスク課題提出物(50%)、理解度確認筆記及び実技テスト(40%)、レポート提出(10%)で評価します。</p> <p>[テキスト(ISBN)]</p> <p>『メイクセラピー入門 3級対策』 著者名:岩井結美子 出版社:一般社団法人メイクセラピストジャパン メイクセラピー検定事務局 なし</p> <p>[参考文献(ISBN)]</p> <p>アドリアン・アーベル著 著者名:サンケイ出版 (『美容の天才365日』) 株式会社講談社</p>	